

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	郡上市立大和北小学校		
実 施 期 間	平成25年5月～10月		
実 施 概 要	① 障がいのある方の生き方に関する話を聞く会（7月11日） ② P T A資源回収（8月18日） ③ 総合的な学習での地域の方を講師に招いての学習 魚の放流（5月31日・9月24日） 稲作り（5月15日・9月27日）		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	110 人	計 140 人
	地域関係者	30 人	
実 施 状 況	① 車椅子で生活する後藤政幸さんを迎えて、「思いやり、助け合い」についての講演を親子で聞いた。講演は義足を見せて「こわい」「かっこいい」「かわいそう」という問いかけから始まり、8kgもある義足で走り、階段をのぼり、義足ははずして水泳を片足でする後藤さんの姿に子供も保護者も感動していた。「本当の友だち」とは何かを熱く語ってもらったり、「だいじょうぶ だいじょうぶ みんなだいすきだから」の読み聞かせから、思いやること、助け合うことを大切にすることを学んだ。 ② 8月18日（日）に親子で環境整備や資源回収を行った。3，4年生の子たちは環境整備（地区によっては資源回収）に、5，6年生の児童は資源回収に参加した。資源回収では、支部長を中心にして回収に取り組み、地域の方にも多数協力していただいた。親子環境整備では「東校舎1階と農機具庫の屋根のペンキ塗り」「東校舎1，2階ガラス拭き」、「多目的ルームのワックスがけ」、「換気扇掃除」、「側溝掃除・剪定」に分かれて作業をした。 ③ 地域の方を招いてアマゴの放流や魚とり、稲作りを総合的な学習の中で行ない、ふるさとの産業やふるさとを支える方の思いについて考えた。		
成 果 及 び 課 題	① 講演会の保護者の感想 ・相手の立場に立って真剣に考えること、「友達だったら笑えない」という話を聞き、本当の不幸は助け合える関係にない生き方にあるのだと思った。 ・本当に胸に響く講演でした。家でも、いつも自分が言われたら？自分がされたら？って考えてみたら、人に対してどうしたらいいかわかると思って話しています。 ② 親子環境整備・資源回収の様子 ・環境整備では、親子で共に汗を流しながら働くことについて考えることができた また資源回収では5，6年の児童が地域の家庭を回って主体的に活動に取り組み、地域の方にも暖かい声をかけていただき、活動に協力していただいた。 ③ 総合的な学習でのふるさとに関する学習 総合的な学習において地域の方を講師に招き、アマゴの放流や魚とり、稲作りをおこなった。児童は地域の産業についての理解を深めると共にふるさとの産業を支える人々の思いや願いについて考え、ふるさとを愛する心を育てることができた。		